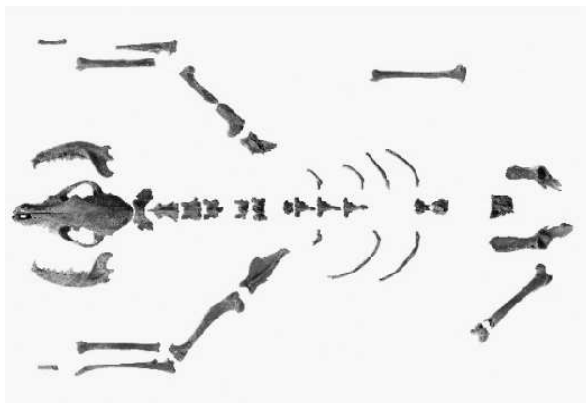


○復元対象資料 青谷上寺地遺跡出土弥生犬骨（取上番号 KJB6968 - 1）



○復元工程



**1 出土犬骨の3Dスキャン**

- ・ステレオカメラという器材を用いて出土部位を回転させながら3D計測を行います。
- ・計測データをつなぎ合わせて欠落箇所のない3Dデータを作成します。



**2 出力データの編集（今回行う作業）**

- ・1でスキャンした各部位のデータを、編集ソフト上で部位の順序や骨格の向きにしたがって並べ出力用データを作成します。
- ・可能な部分はコピーや反転によって部位の欠落を補います。



**3 3Dプリンターで出力**

- ・2で作成した出力データを3Dプリンターで出力します。
- ・径0.2mm幅で吐出される素材に積み上げによって、各部位の精巧なレプリカを作製します。

<参考>今後の作業工程（纏向遺跡出土犬の復元工程を参照）



全身骨格の組上



肉付け



整形、彩色